

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成23年7月1日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

●需要面

大型小売店販売額(店舗調整後)、ホームセンター・家電量販店販売額は前年を下回った。(4月)用途別着工建築物工事金額は前年を上回ったが、乗用車新車新規登録台数、新設住宅着工戸数、公共工事請負金額は前年を下回った。(5月)

●産業面

鉱工業生産指数は、季節調整済指数が前月を下回り、原指数も前年を下回った。(4月)

●雇用面

きまって支給する給与は前年を下回ったが、所定外労働時間は前年を上回った。(4月)求人倍率は、新規は前月を下回ったが、有効は上回った。新規求人数は前年を上回った。(5月)

○需要面の動き

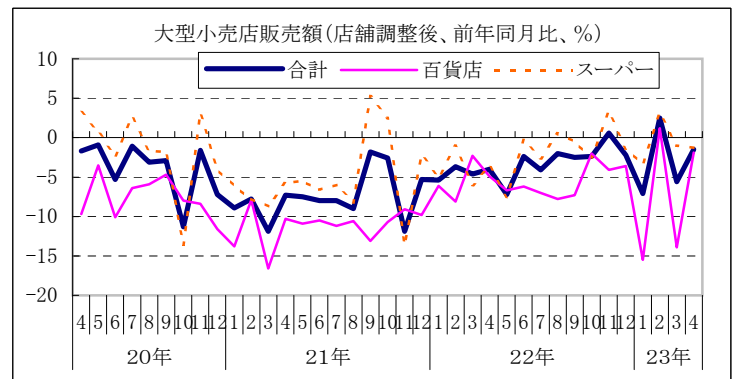
大型小売店販売額(4月)

全店舗の販売額は、51億2,100万円(前年同月比2.4%減)と2か月続けて前年を下回り、店舗調整後でも前年を下回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比	
合計	512,100	▲2.4	(▲1.5)
百貨店	153,600	▲1.9	(▲1.9)
スーパー	358,400	▲2.6	(▲1.3)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(4月)

33億2,300万円(前年同月比2.6%減)と3か月ぶりに前年を下回った。

乗用車新車新規登録台数(5月)

1,114台(前年同月比29.9%減)と9か月続いて前年を下回った。普通車、小型車及び軽自動車の全ての区分で前年を下回った。

新設住宅着工戸数(5月)

157戸(前年同月比1.3%減)と3か月ぶりに前年を下回った。持家系(前年同月比2.0%減)は前年を下回り、貸家系は前年と同水準であった。

用途別着工建築物工事金額(5月)

32億8,700万円(前年同月比387.7%増)と2か月ぶりに前年を上回った。用途別では、製造業(前年同月比96.0%減)等で前年を下回り、医療・福祉(前年同月比419.5%増)等で前年を上回った。

公共工事請負金額(5月)

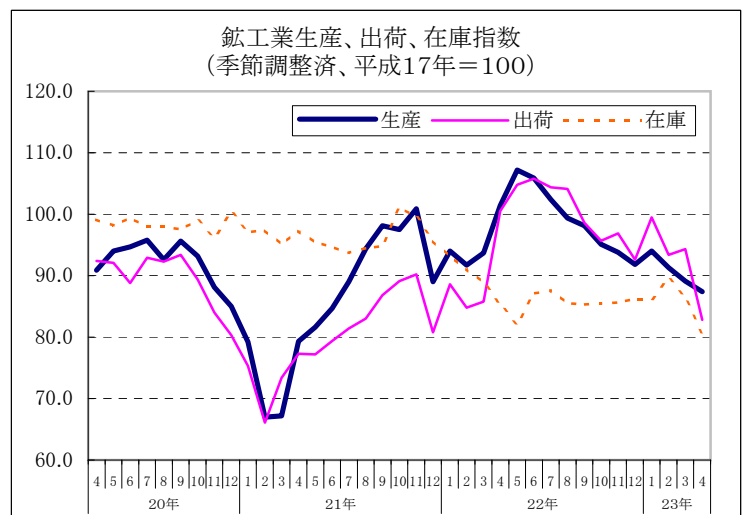
44億8,800万円(前年同月比76.2%減)と11か月続いて前年を下回った。発注者別の内訳では、国(前年同月比89.3%減)、県(前年同月比11.7%減)及び市町村(前年同月比68.8%減)等で前年を下回った。

○産業面の動き

鉱工業指数(4月)

生産指数(季節調整済)は87.4(前月比1.9%低下)と3か月連続の低下となり、原指数も80.7(前年同月比15.9%低下)と3か月連続の低下となった。

内訳を前月比で見ると、食料品・たばこが9.4%低下となり4か月ぶりの低下、電子部品・デバイスが8.1%低下となり2か月連続の低下、電気機械が12.7%低下となり3か月ぶりの低下、一般機械が5.9%上昇となり2か月ぶりの上昇となった。在庫指数(季節調整済)は80.5と前月比6.9%低下した。



大口需要電力実績(4月)

92,338千kwh(前年同月比14.8%減)と7か月続いて前年を下回った。鉱工業用の大口需要電力を主要4区分で見ると、その他の製造の区分で前年を上回ったが、それ以外の区分では前年を下回った。

青果物卸売量(5月、鳥取市場)

野菜が1,557t(前年同月比6.9%増)と5か月続けて前年を上回り、果実は664t(前年同月比1.6%減)と2か月ぶりに前年を下回った。

漁獲量(5月、境港)

18,363t(前年同月比24.1%増)と5か月続けて前年を上回った。

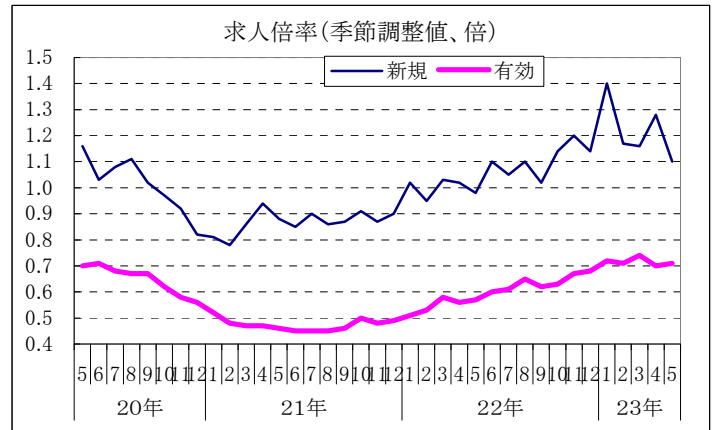
○雇用・金融面の動き

新規求人倍率(5月)

1.10倍(前月差0.18ポイント低下、前年同月差0.12ポイント上昇)であった。なお、新規求人数は、3,352人(前年同月比10.9%増)と10か月続いて前年を上回った。

有効求人倍率(5月)

0.71倍(前月差0.01ポイント上昇、前年同月差0.14ポイント上昇)となっており、5か月続けて0.7倍台となっている。



現金給与総額(4月)

248,808円(前年同月比0.6%減)と3か月ぶりに前年を下回った。そのうち、きまって支給する給与は、243,447円(前年同月比0.2%減)で3か月ぶりに前年を下回った。

所定外労働時間(4月)

8.5時間(前年同月比3.6%増)と17か月続いて前年を上回った。主力の製造業は5.7%増となった。産業別の前年同月比では、他に分類されないサービス業(前年同月比63.0%増)等で前年を上回り、生活関連サービス業・娯楽業(前年同月比41.9%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(4月末)

預金残高は、2兆309億円(前年同月比4.0%増)と28か月続いて前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,273億円(前年同月比0.7%減)と2か月連続して前年を下回った。

○参考

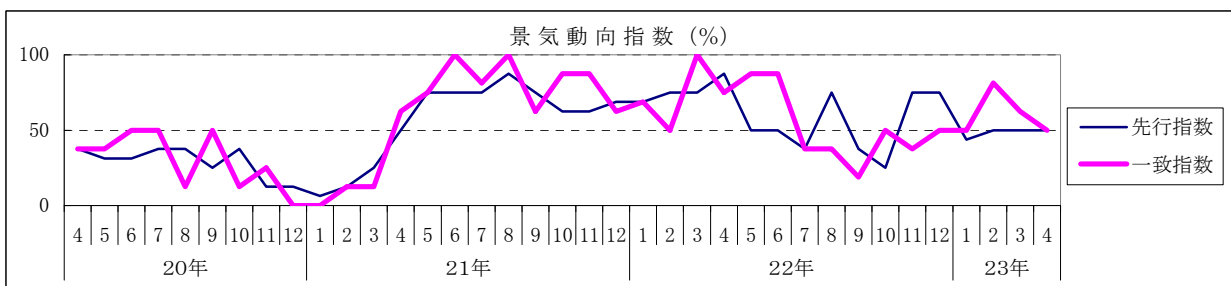
鳥取県景気動向指数(4月)

先行指数50.0%、一致指数50.0%、遅行指数60.0%となった。

先行指数は3か月続けて50%以上となった。

一致指数は5か月続けて50%以上となった。

遅行指数は2か月続けて50%以上となった。



企業倒産(5月)

件数は3件で前年に比べて2件増加(前年同月比200.0%増)となり、負債総額は43億6,000万円の前年に比べて41億6,000万円増加(前年同月比21.8倍)した。

消費者物価指数(5月、鳥取市、総合、平成17年=100)

99.2となり、前月比(0.4%)は上昇、前年同月比(0.6%)も上昇となった。

鳥取県の推計人口(6月1日現在)

584,991人で、前月と比べて208人(0.04%)減少し、前年同月と比べて3,317人(0.56%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成23年5月調査)

平成23年4~6月期は、平成23年1~3月期に比べると、景気、売上高及び経常利益のいずれもが不調となっている。

平成23年7~9月期は、平成23年4~6月期に比べると、景気が横ばい、売上高がやや好調、経常利益がやや不調となる見通しとなっている。